

Press Release

December 1, 2023 | ID: 100280

ボルボ・カーズ、気候変動対策をさらに強化 2030年までに車1台あたりのCO₂排出量75%削減を目指し、 ニアゼロエミッションのアルミニウムとスチールの利用を計画

本プレスリリースは、11月30日スウェーデン本社発の翻訳版です。

ドバイで開催される COP28 気候サミットに向け世界のリーダーたちが準備を進める中、気候変動対策においてビジネスをこれまで以上に前進させることが非常に重要になっています。私たちは今回、すでに自動車業界で最も意欲的な水準であるアクションプランをさらに加速させ、2030年までに2018年を基準として車1台あたりのCO₂排出量を75%削減することを目指すと発表しました。

これは、2040年までにクライメート・ニュートラルな企業になること、そして2018年から2025年の間に車1台あたりのCO₂排出量を40%削減するという私たちの高い目標に追加されるものです。2023年1~9月期には、車1台あたりのCO₂排出量は2018年の基準値と比較して19%減少しています。

2030年までに75%削減するという意欲的な目標を達成するためには、2030年までにEVのみを販売し、当社のモデルラインナップのテールパイプからの排出をなくすという従来の高い目標に向けた取り組みを継続する必要があります。

また、こうした高い目標の達成を後押しするため、世界経済フォーラムのFMC(First Movers Coalition)に加盟し、ニアゼロエミッションのアルミニウムへの移行を促進する新たなクリーン技術に購買力を集中させることを発表します。

さらに、スウェーデンの鉄鋼メーカーSSAB社との協力を通じて、鉄鋼業界においても行動を起こしています。ボルボ・カーズは、SSAB社と提携し、自動車業界向けの高品質なニアゼロエミッションスチールを開発した最初の自動車メーカーです。これで、ボルボ・カーズは、SSAB社からニアゼロエミッションのプライマリースチールとリサイクルスチール板の入手を確保し、2026年までにいずれかの新型車開発に使用する予定です。

ボルボ・カーズのハビエル・バレラ最高執行責任者(COO)兼副CEOは、「COP28は、気候変動対策についての歴史的な責任を果たす場面といえます。気候変動による最悪の影響を回避するため、世界は一丸となって行動を起こす必要があります」と述べています。

ボルボは今年前半、これまでのどのボルボ車よりも少ないカーボンフットプリントを実現したEVの小型SUV「EX30」を発表しました。EX30は、ボルボが2030年までに完全なEVメーカーになることを目指して、発表する最新のEVモデルのひとつです。そして、私たちは順調に前進しており、2023年1~9月期には、EVがボルボ全体の販売台数の16%を占めました。

また、内燃エンジンからの脱却も急速に進めています。私たちは 2024 年初めにディーゼルエンジン車の生産を終了し、新しい内燃エンジンへの研究開発投資も終了する予定です。過去の技術に目を向けるのではなく、未来を見据えているのです。

同時に、最新の目標を達成するためには、サプライチェーンと自社事業(ロジスティクスを含む)全体の CO₂ 排出量について取り組む必要があり、2030 年までに 2018 年を基準としてそれぞれ 30%削減することを目指しています。

私たちはすでに多くのことを実践しています。2022 年には、自社事業の 69%がクライメート・ニュートラル エネルギーで運営されました。それ以降、私たちは最近、世界中にあるボルボの各工場において 100%クライメート・ニュートラルな電力とすることを達成しました。

またこの夏には、世界的な自動車メーカーとして初めて、大陸間海上輸送の 86%を化石燃料からバイオ燃料に切り替えることを発表しました。これにより、海上輸送の CO₂ 排出量を 84%削減し、事業活動からの排出量を削減するという私たちの高い目標に貢献しています。

ボルボ・カーズの気候変動対策責任者であるヨナス・オッターハイムは、「私たちはこれまでも COP サミットを通じて集団的な気候変動対策を推進してきており、今回の COP28 についても同様です。私たちや、志を同じくする企業が取り組もうとしているのは、時に古くからの産業プロセスを脱炭素化するための革新的な技術を開発し、その規模を拡大することです。FMC に参加し、SSAB 社とのパートナーシップで具体的な進展を示すことで、この重要な転換が可能であるだけでなく、すでに進行中であることを実証したいと考えています」と述べています。

長い道のり

COP28 は、9 月に発表された国連の「グローバル・ストックテイク」報告書を背景に開催されます。同報告書の厳しい結論は、一部で進展が見られるものの、産業革命以前のレベルに対して地球温暖化を 1.5 度に抑えるには、世界はまだ大きく立ち遅れているというものです。

報告書には、輸送分野を含む特定分野に対する提言も含まれており、自動車産業については、「内燃エンジンを段階的に廃止し、EV を使用することが、この分野で最大の(環境負担)軽減の可能性となる」としています。この結論は、車両を電動化し化石燃料自動車から脱却するボルボの取り組みと一致しています。

注記

- これまでのボルボ車の中で最も少ないカーボンフットプリントは、グローバルに販売されている車両での 20 万キロの走行に基づくものです。
- 車 1 台あたりの CO₂ 排出量削減目標は、ボルボのグローバル温室効果ガス(GHG)プロトコルのうち、"販売製品の使用"のサブカテゴリーである "燃料と電力の生産と供給"を除くすべての排出量を対象としています。

2022 年のボルボ・カーズ

2022 年通年で、ボルボ・カー・グループは 223 億 SEK の営業利益を計上しました。2022 年の売上高は 3,301 億 SEK、世界販売台数は 615,121 台に達しました。

ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは 1927 年に設立された高級自動車ブランドの一つであり、100 カ国以上のお客様に販売されています。ボルボ・カーズはナスダック・ストックホルム証券取引所に上場しており、「VOLCAR B」のティッカーで取引されています。

ボルボ・カーズは、お客様にパーソナルで持続可能かつ安全な方法で、「Freedom to Move(移動する自由)」を提供することを目指しています。これは、2030年までに完全なEVメーカーになるという目標と、2040年までにクライメート・ニュートラルな企業になるという目標のもと、二酸化炭素排出量を継続的に削減するというコミットメントに反映されています。

2022年12月現在、ボルボ・カーズの正社員は約43,200人です。ボルボ・カーズの本社、製品開発、マーケティング、管理部門は、主にスウェーデンのイエーテボリにあります。生産工場は、イエーテボリ、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ(米国)、成都、大慶、台州(中国)に所在しています。また、イエーテボリ、カマリオ(米国)、上海(中国)に研究開発及びデザインセンターがあります。

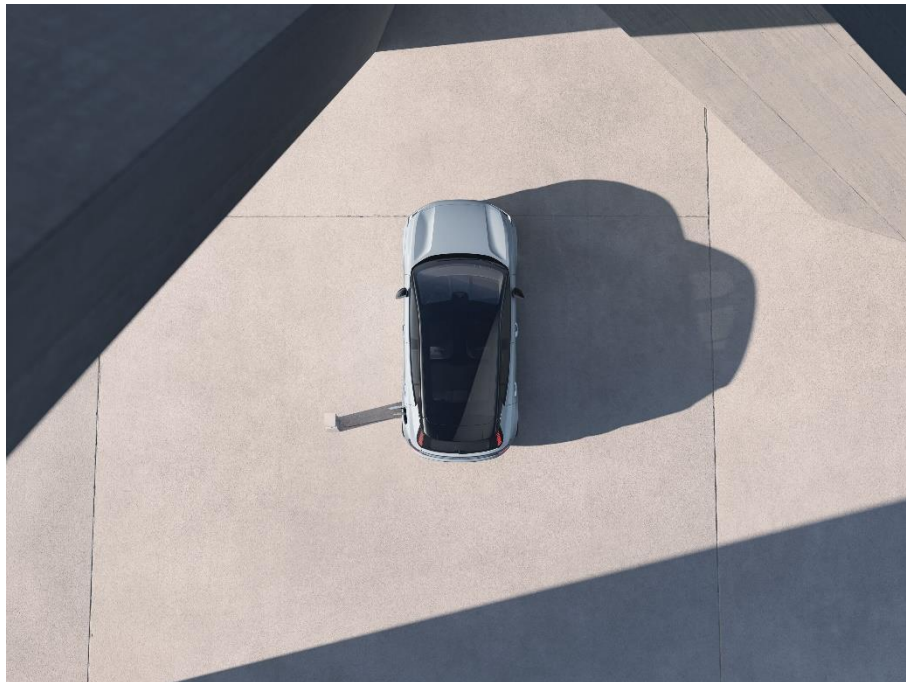
報道関係問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン広報事務局

volvo-pr@prap.co.jp

TEL:03-4580-1024 (問合せ対応時間:平日 10:00~18:00)

Related Images



[More Images >](#)